

提案書評価採点基準表

業務名：富山まちなか病院医療情報システム等更新事業

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
			特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
1	業務実績	電子カルテシステムを含む医療情報システム導入の実績が豊富であるか。	10	8	6	4	2
2	基本方針	(1) 経営の健全性向上 ノンカスタマイズを前提とし、今後の環境変化（制度改正等）に対応しやすいシステム構成となっているか。また、システムに蓄積されるデータの利活用について具体的な提案がなされているか。	10	8	6	4	2
3		(2) 業務効率化の推進 医師・職員の負荷軽減や業務効率化のためのデータ連携や情報共有等について、具体的な提案がなされているか。	10	8	6	4	2
4		(3) 医療の質と安全性の向上 医療の質と安全のための具体的な提案が行われているか。 ・間違いに気付くチェック機能 ・正確な情報管理と原本管理 ・患者サービス向上 等	10	8	6	4	2
5		(4) システムの拡張性及び医療DXの推進 国が示す新制度や標準仕様を積極的に取り入れた提案となっているか。 ・オンライン資格確認連携 ・電子処方箋連携 ・電子カルテ情報共有サービス連携 等	10	8	6	4	2
6		(5) 情報セキュリティの確保 最新のガイドライン（3省2ガイドライン）に則した提案が行われているか。 ・2要素認証 ・職種等によるアクセス利用制限 ・セキュリティパッチの適用 等	10	8	6	4	2
7		導入プロジェクト管理	事業者と当事業局の役割分担、スケジュール、作業内容が具体的に提示され、適切な要員が配置されているか。 すべての部門システムを含めたプロジェクト管理が想定されているか。	20	16	12	8
8		プロジェクト全体を通して、職員の負担を軽減するための提案が具体的に提示されているか。	10	8	6	4	2

番号	評価項目	評価の考え方・着眼点	評価				
			A	B	C	D	E
			特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
9	システムの構成	本業務の要求仕様を満たしているか。 ・病床の再編時にシステムの設定が変更できること ・6年間以上ベンダーサポートが受けられること ・24時間365日の安定的な連続運用が可能であること ・アクセス記録が保持され、利用状況が確認できること ・外部記録媒体の接続を制限する仕組みがあること 等	10	8	6	4	2
10	システム連携	システムの全体最適化が想定されているか。 ・システム間連携により、二重登録等の負荷が排除される仕組みになっているか。 ・業務の運用に合わせ、リアル連携やバッチ連携が使い分けされ効率化されているか。	20	16	12	8	4
11	データ移行	データ移行可能なものと不可能なものが整理され、不可能なものについて、業務に影響がない提案が行われているか。	20	16	12	8	4
12		医師・職員の負担軽減や費用対効果を考慮したデータ移行が想定されているか。	20	16	12	8	4
13	BCP対策	ランサムウェア感染や大災害に備え、遠隔でのオフラインバックアップが行える提案になっているか。 ・遠隔バックアップの処理状況が監視できる ・復旧方法がマニュアル化され、短時間で確実に復旧できる等	20	16	12	8	4
14	利用者教育	通常業務を優先しながらも、十分な研修が受けられる計画がなされているか。	20	16	12	8	4
15	その他	富山まちなか病院における現状と課題を理解し、課題解決に向けた的確な提案がなされているか。	10	8	6	4	2
16		業務改善や職員の負荷軽減等について、実現できる有益な追加提案があるか。	10	8	6	4	2
17	導入に要する費用	[評価点 a] = 20点 × (全提案者中の最低見積価格 ÷ 当該提案者の見積価格)	20	16	12	8	4
18	保守運用に要する費用	ただし、20 > a ≥ 16…16点、16 > a ≥ 12…12点、12 > a ≥ 8…8点、8 > a…4点とする。	20	16	12	8	4
(評価の合計 (260点満点))							

本プロポーザルにおける受託候補者は、各委員による評点の合計が780点以上である提案者のうち、評点の合計の最も高い者を受託候補者として選定する。

ただし、評点の合計が同値の者が複数いる場合は、最も高い評点を得た委員数の多い提案者を受託候補者として選定する。

上記の選定においても受託候補者が決定しないときは、抽選とする。

一者のみ参加のときは、あらかじめ決定した選定最低基準点を満たしていれば受託候補者として特定することとする。